

## 「貯留層評価実践コース」詳細について

1. 講師: 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
石油天然ガス開発技術本部 技術部 探査技術課 内田真之介、栗山祐太郎、  
石油天然ガス開発推進本部 事業推進部 地質・物理探査課 福成徹三
2. 開催日時: 2018年10月16日(火)～10月19日(金)  
10:00～17:00
3. 開催場所: 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 技術センター 2階 セミナー室
4. 申込締切: 2018年9月28日(金)
5. 定員: 20名程度
6. 講座内容

使用ソフトウェア: Microsoft社 Excel  
使用するPC・ソフトウェアは弊機構が準備します。

対象レベル: 中級

講座スケジュール:

講座内容				
時間	1日目	2日目	3日目	4日目
午前 10:00- 12:30	<b>Clean sand解析</b> -岩相推定 -孔隙率、水飽和率評価  デモデータ演習	<b>実データ演習</b> -孔隙率、水飽和率 -コアデータ解析 -毛細管圧データを用いた水飽和率評価	<b>実データ演習(続き)</b> -孔隙率、水飽和率 -コアデータ解析 -毛細管圧データを用いた水飽和率評価	<b>Thin bed層の解析(続き)</b> デモデータ演習
午後 13:30- 17:00	<b>Shaly sand解析</b> -粘土鉱物のタイプと特性 - Dispersed shaleモデルの Shaly sand解析  デモデータ演習		<b>Thin bed層解析</b> - Thin bed/laminar sandの検層レスポンス - Thomas-Stieber法 - Tensile解析法 - NMR検層との統合解析	<b>炭酸塩岩層解析</b> - 炭酸塩岩貯留層の特徴 - 検層解析における砂岩と炭酸塩岩の違い - 孔隙率、水飽和率(孔隙システム、BVW、Dielectric)評価

※上記は一部調整する可能性があることをご了承ください。

- 解析対象は Clean sand 層、Shale sand 層 (dispersed clay, thin bed 等)、炭酸塩岩層となります。
- Excel でのデータ解析に焦点を当て、ソフトウェアに依存しない知識の習得を目的と致します。

以上